2022年8月25日号
2299号
（毎月 5,15,25 日発行）
1950年12月16日第三種郵便物認可
1部140円月額400円(郵便料月額126円

平和新聞
京都版

発行　日本平和委員会
〒105-0014 東京都港区芝 1-4--9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)-6277
振替 00100-4-83731
E-Mail(編集部)heishin@j-peace.org
http://j-peace.org

E-mail: kyo-hei@crest.ocn.ne.jp 編集　京都平和委員会 Tel.075-811-3203 Fax 075-811-3213

3年ぶり広島で原水爆禁止世界大会現地開催！
被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界を!!
京都から約90名近くの代表が参加!!

２０２２年原水爆禁止世界大会が８月４日～６日に広島で開催され、京都から約９０名近くの代表が参加しました。コロナ禍で３年ぶりに広島での現地開催となり、９日の長崎デー集会もあわせて、全国で約のべ４，０００人現地参加、約４，３５０ヶ所でオンライン参加がありました。現地参加、オンライン参加された方の感想を紹介します。

核兵器も原発もいらない！
米重節雄さん
（乙訓平和委員会）
オンライン参加

私は原水禁世界大会広島デーをZoom配信で視聴しました。世界大会を視聴して一番強く思ったことは、やっぱり核兵器を持ってはいけない。そして、原発も持ってはいけないということです。

世界大会に参加された海外代表の「北西ロシア平和運動／フィンランド港南岸公共評議会」オレグ・ボドロフ氏は、「ロシアはウクライナで新しい型の核兵器をすでに使用しています。」、「重装備の軍隊の支援を受けて、サポロジエ原発が攻撃されたのです。」と語っています。このことは何を意味するのかというと、核兵器を作らなくても、原発を攻撃すれば原爆を爆発させるのと同じことができるということです。実に恐ろしいことです。これを日本に当てはめてみると、多数の原発がある我が国は核兵器を持っているのも同然で、一旦ことが起こると核兵器による取返しがつかない重大な事態が起こるということです。そんなことは絶対にさせてはなりません。日本には核兵器も、原発もいりません、その声を大きく上げていくことがとても大事だと改めて思いました。

世界の流れは核兵器廃絶の方向に進んでいる
川上裕光さん
（京都平和委員会事務局長）
広島現地参加

私は、広島で開催された原水禁世界大会に３０数年ぶりに参加しました。コロナ禍でここ数年は現地での開催ができず、オンライン開催で何かと窮屈な感じがありましたが、現地・広島で全国各地や世界各地から一同に会して核兵器禁止、廃絶に向けて互いに対面して、話しあえたことは本当に良かったと思いました。ロシアのウクライナ侵略が起き、核兵器の先制使用の危機が出てきた中で開催された世界大会でしたが、世界の大きな流れは、核兵器を無くす方向に進んでいる、そのことを全国各地からや、海外代表からの発言を見聞きして改めて感じました。そして、次を担う若い人たちの運動が着実に始まりだしたことに私自身励まされました。

それにしても情けないのは日本政府の対応です。岸田首相はNPT総会や広島、長崎の発言では、核兵器禁止条約とNPT条約第6条で条約締約国に「誠実に核軍縮交渉を行う」ことを義務付けていることについて一言も言わない態度に終始しました。核兵器廃絶に背を向けて、アメリカのお顔伺いだけに終始しているこんな政府はいりません。

平和のペナントで埋め尽くされた広島会場(8/6)

平和、核兵器廃絶のために話し合いによる紛争の解決以外にない！
西山英利さん
（京都自治労連）
広島現地参加

私は、核兵器廃絶を求める運動に参加するようになって45年、これまで世界大会に幾度も参加してきました。その中でも今回の大会は、核兵器廃絶を願う世界の人々の連帯が、次々と立ちはだかる困難を乗り越えて歴史を前に進めていることを実感した大会でした。

この１年間だけでも、ロシアによるウクライナ侵略、米中覇権争いと緊迫する台湾海峡、日米軍事同盟強化、衆参両院における改憲勢力の３分の２以上の議席獲得など次々とかつてなかっ

た危険な動きが現れている。

しかしその一方で、核兵器禁止条約の発効と批准国の増大、第一回締約国会議の成功、NPT 再検討会議など、世界の人々は核廃絶の新しいステージとなる画期的な前進を切り開いています。その力の源泉は、世界が平和になり人々が幸せになるには、戦争反対！核兵器廃絶！話し合いによる紛争の解決！以外にはないからではないでしょうか。そのことを実感する大会でした。

また、今回の大会は、コロナ禍で京都自治労連からは４人の参加でしたが、青年の参加者と交流できたこともいい思い出になりました。

「私が夜学生だった頃は、夏休みには大学周辺の家々一軒一軒を回って、呼び鈴を押して、「核兵器廃絶署名と世界大会への代表派遣のためのカンパの協力を訴えて費用をつくっていた」との話に、「信じられない」と驚いていました。そうした対話の一つ一つの積み重ねが、核兵器を使わせない力になっていることを記憶の片隅にとどめておいてほしいものです。

宇品・凱旋館の記念碑(インターネットより)

堀川恵子著
『暁の宇品　陸軍船舶司令官たちのヒロシマ』の舞台を訪問

私は、６日の大会終了後の自由時間を利用し、かつて日清戦争から太平洋戦争まで、何百万人という軍人・軍属と物資を運んだ輸送基地の宇品港を訪ねた。昨年７月に出版された**堀川恵子著『暁の宇品　陸軍船舶司令官たちのヒロシマ』**の舞台である。今は、当時の面影は何も残っていないが、陸軍船舶司令部が置かれていた**凱旋館の記念碑**が宇品中央公園に今も残っており、「その記念碑(**上記画像**)を訪ねて写真に収めたい」との思いからです。

なぜ原爆が広島に投下されたかの一つに、侵略戦争の出撃拠点であった宇品港の存在があったと言われています。原爆ではほぼ無傷であった船舶司令部の兵士たちは、原爆投下の 35 分後には、爆心地へ救出に向かい大変重要な役割を果たすのです。その結果、多くの兵士が二次被爆し戦後亡くなっています。

「今では、誰も訪ねてくる人もなく忘れ去られていくのだろう」と思いながらシャッターを切っていると、世界大会に参加されたであろうと思われる年配の男女が来られ、記念碑の前で話をされていました。「思いを共有できる方に出会えた」と、思いながら宇品を後にしました。

沖縄県知事選に勝利して、２２年日本平和大会を迎えよう！

秋以降の闘いに大きな影響を与える沖縄知事選挙。米中対立の最前線とされる南西諸島・沖縄を再び戦場にさせず、日本の大軍拡、改憲政治を止めるためにも、玉城知事の再選は何としてでも勝ち取らねばなりません。

現地支援をはじめ、電話がけ、募金等を強化し、京都から知事選支援の輪を広げましょう！！

「2022 年日本平和大会・オンライン」に名称変更！！

平和大会実行委員会では新型コロナ感染状況等をふまえ、今年も以下のようにオンラインのみとすることを確認しました。

■大会日程　11 月 26 日(土)-27 日(日)
（１日目）午前－開会集会、午後－分科会
（２日目）午前－閉会集会

■参加形態　すべてオンライン
＊京都平和委員会でオンライン視聴会をおこないます。

■参加費　開会・分科会・閉会それぞれで、視聴会１件 1,000 円
個人視聴１人 500 円

＊参加登録は都道府県委員会を通じておこない、都道府県委員会は視聴会１件当たり 700 円、個人視聴１人当たり 350 円を中央実行委員会に納入

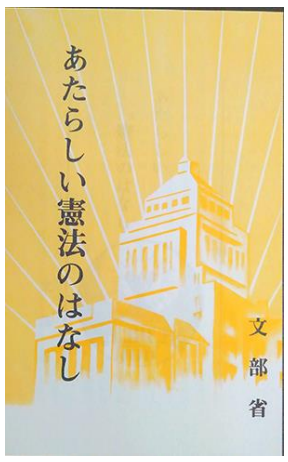
●日本平和大会学習パンフ(１冊２５０円)
日本平和大会成功に向けて、みんなで学ぼう！

第２回京都平和委員会会員のつどい

１０月１５日(土)、１４時～１６時、　現地開催＋オンライン配信予定
千坂純日本平和委員会事務局長を迎え、平和大会パンフレットについて学習
その後、会員相互の交流を行う予定です。

＊問い合わせ・パンフの注文は、京都平和委員会まで
E-mail: kyo-hei@crest.ocn.ne.jpTel: 075-811-3203　Fax: 075-811-3213

☆京都平和委員会のお薦め資料!!
秋以降の改憲策動に反撃するため、ご活用を!!



１冊２００円
＊ご希望の方は
京都平和委員会まで
お知らせください。